

HITACHI



原子力人材のグローバル化 (原子力人材育成ネットワークシンポジウム)

2022年2月15日

日立GEニュークリア・エナジー(株)
原子力国際技術本部 原子力海外技術グループ

吉江 豊

目次

1. 自己紹介
2. 海外におけるプロフェッショナルエンジニア(PE)の位置付け
3. 日本でのPE・技術士の活用
4. まとめ

目次

1. 自己紹介
2. 海外におけるプロフェッショナルエンジニア(PE)の位置付け
3. 日本でのPE・技術士の活用
4. まとめ

氏名

吉江 豊 (ヨシエ ユタカ)

入社年

1992年 (入社30年目)

所属

**日立GEニュークリア・エナジー(株)
原子力国際技術本部**



1～17年目

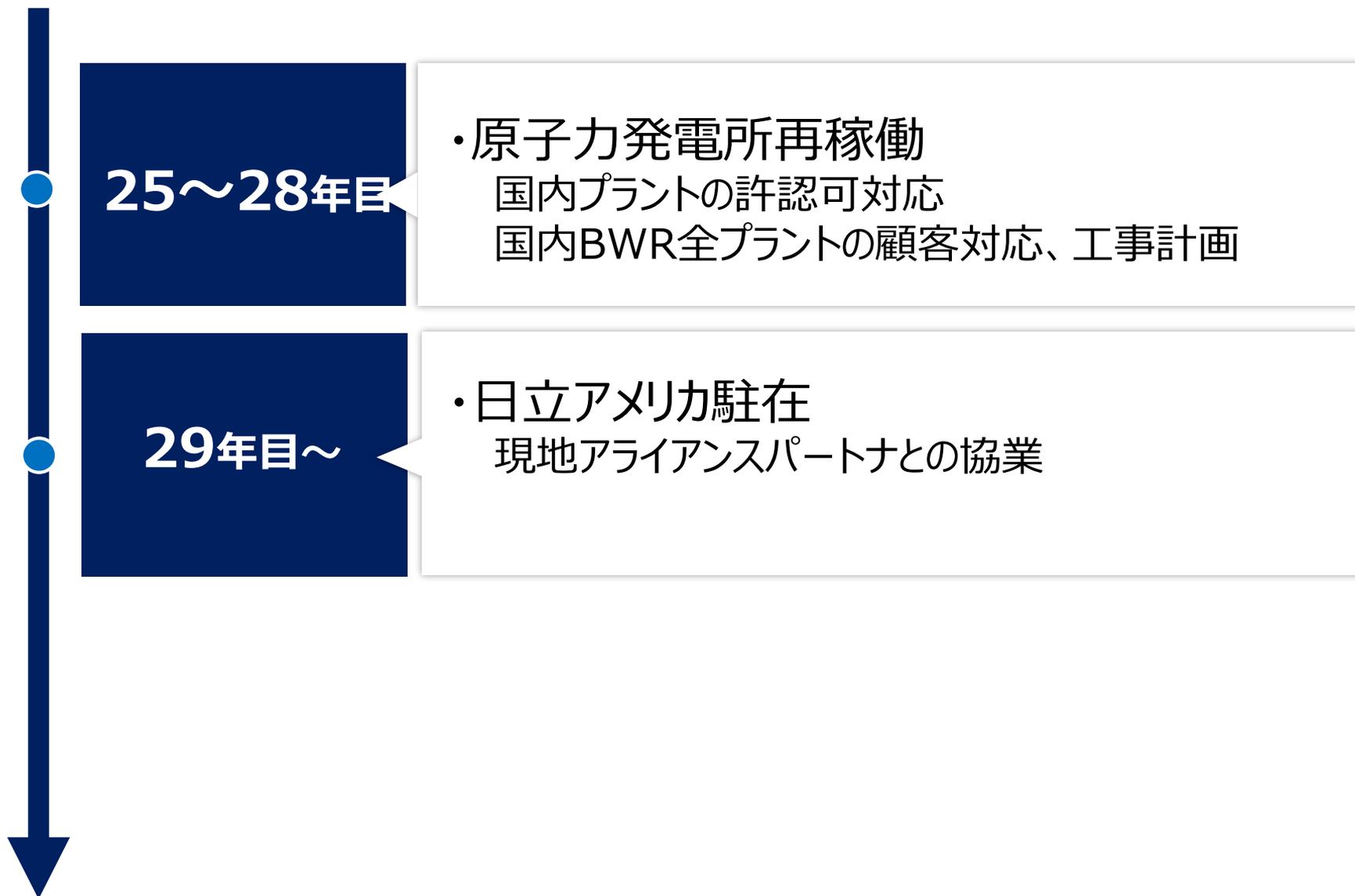
- 原子力発電所主機設計業務
圧力容器、ポンプ等の主要機器の設計に携わり、机上検討から現地での大型工事対応まで経験。

18～20年目

- プロジェクトマネージャ(国内)
特定プラントのメンテナンス全般を取り仕切るプロジェクトマネージャ。

21～24年目

- 新規発電所建設プロジェクト(英国)
イギリスに駐在し、現地会社のガバナンスを担当。



PE取得の経緯

- エンジニアの資格として存在は認識
 - ✓ 社内で極めて少数の所有者
 - ✓ 取得の困難さ
- 入社4年目に米国へ出張
 - ✓ 米国企業の原子力エンジニアと名刺交換
 - ✓ 自信に満ち溢れる発言に圧倒される
- 決意
 - ✓ 自分の技術力をどう説明するか
 - ✓ 会話のスタートライン
 - ✓ 技術・知識の棚卸し
- 資格取得
 - ✓ 2003年(入社12年目) FE取得
 - ✓ 2012年(入社21年目) PE取得
 - ✓ 2013年(入社22年目) PE登録 (ワシントン州)

技術士取得の経緯

- 「科学技術に関する高度な知識と応用能力が認められた技術者の国家資格」
として、存在は認識
 - ✓ 2004年に原子力・放射線部門が設立
 - ✓ 社内で資格取得への取り組み推奨
- 技術士取得の意義
 - ✓ 原子力技術者
 - ✓ 技術者倫理
 - ✓ 面接
- 資格取得
 - ✓ 2005年(入社14年目)1月 1次試験合格
 - ✓ 2005年11月 2次試験合格
 - ✓ 2005年12月 面接試験
 - ✓ 2006年2月 原子力・放射線部門 技術士取得

PE、技術士取得が役立った機会

- 技術打合せ
 - ✓ 発言の信頼性
- 顧客ニーズの把握
 - ✓ プロジェクトマネージャとして、あらゆる部署の顧客と会話
 - ✓ 社内関係部署に検討を依頼
 - ✓ 全体最適化
- 自己紹介
 - ✓ 会話の切り出し

目次

1. 自己紹介
- 2. 海外におけるプロフェッショナルエンジニア(PE)の位置付け**
3. 日本でのPE・技術士の活用
4. まとめ

2.1 プロフェッショナルエンジニア(PE)の位置付け(1)

PE制度

- ワイオミング州の土地所有に関する地図/図面作成
カリフォルニア州のダム決壊事故
テキサス州の小学校ガス爆発事故
→技術者資格の必要性
- PEの意義
 - ✓ 会社ではなく個人の責任
 - ✓ 公共利益の優先

米国原子力技術者からのヒアリング

- ヒアリングした技術者が所属する企業では、PE取得者は15%程度
- ASME製品を製作する場合、図書/図面はPEサイン必須
- 必須資格とはしていないが、強く推奨
(成長のためのstepping stone)

目次

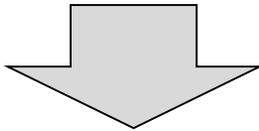
1. 自己紹介
2. 海外におけるプロフェッショナルエンジニア(PE)の位置付け
- 3. 日本でのPE・技術士の活用**
4. まとめ

資格の位置付け

- 医師免許
 - 弁護士資格
 - 調理師免許
 - 運転免許
 - TOEFL
 - TOEIC/英検
-
- 原子力技術者の資質を証明するツールは？

PE

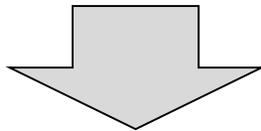
- 広範な技術力、及び技術英語力
- 技術者倫理
- 継続的研鑽



- 海外プロジェクトに参画できる資質の証明

技術士

- 原子力・放射線に関する広範囲な知識
- 技術者倫理



- 終身雇用からジョブ型に移行する雇用形態で、自分のキャリアを客観的に示す資格
（「〇〇社の△△です」からの脱却）
- セカンドキャリアにおける基礎知識

目次

1. 自己紹介
2. 海外におけるプロフェッショナルエンジニア(PE)の位置付け
3. 日本でのPE・技術士の活用
4. まとめ

原子力技術者にとってのPE・技術士資格の意義

- ✓ 気候変動対策の主要テクノロジーとなる原子力
→国内だけでなく世界にビジネスチャンス
- ✓ 海外技術者とのコンタクト
→自分の資質をどう証明するか？
- ✓ 知識の棚卸し
- ✓ ジョブ型雇用への対応、セカンドキャリア

ご清聴ありがとうございました